

2016年5月18日

関係者各位

独立行政法人国立科学博物館
植物研究部 細矢 剛

第27回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催について（案内）

平素より自然史標本データ整備事業にご協力下さり、ありがとうございます。

第27回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会を下記のとおり国立科学博物館で開催します。

多くの皆様のご参加をお待ち致しております。ご参加いただける場合は、6月2日（木）までにメールで下記担当までお名前、ご所属をご連絡ください。

記

日時：2016年6月10日（金）13時30分～17時（13時開場）

場所：国立科学博物館 上野本館 日本館2階講堂

<http://www.kahaku.go.jp/userguide/access/index.html>

主催：国立科学博物館

共催：NPO法人西日本自然史系博物館ネットワーク

プログラムは別紙をご覧ください

本件に関する連絡先

国立科学博物館

細矢 剛・安田 敦子

電話：029-853-8277 E-mail：s-net_info@kahaku.go.jp

第 27 回自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会

『自然史標本情報発信を理解するための基礎知識』

日時：2016年6月10日 13:30-17:00

場所：国立科学博物館上野本館 2 階講堂

近年、博物館からの情報発信については「事前の許諾」、「適切な引用の表示」、「著作権」などの知的所有権に関連した配慮が必要になってきました。自然史標本データは事実データですので、著作権の範囲ではありません。しかし、論文・リスト作成や普及事業への利用にあたっては、相応の注意が必要です。ところが、これがややこしい……。説明や概念が難しかったり、略号が多かったり……。自然史標本の情報を扱い、発信する上では、どのようなことを知り、注意すればよいのでしょうか？

そこで、今回の研究会では、標本情報を扱っていく上で「常識」となりつつある概念や用語を紹介し、理解を促すとともに、標本情報の活用例を紹介し、検討することによって、リテラシーの向上を指向します。

= プログラム =

13:30~13:50 趣旨説明・自然史情報のデジタル化～最近のトレンド

国立科学博物館 細矢 剛

13:50~14:20 情報共有と知の循環・拡大再生産 (仮)

国立科学博物館 小川 義和

14:20~14:50 標本はどこにある？ 日本でのコレクション調査の現状と世界の動向

国立科学博物館 海老原 淳

14:50~15:20 休憩

15:20~15:50 地図化による標本・観察情報の活用：安心して使える無料地図素材とライセンスの話

(研) 農研機構 大澤 剛士

15:50~16:20 トラブルの無いデータ公開と利用のために気をつけたいこと

国立科学博物館 神保 宇嗣

16:20~16:40 総合討論

16:40~17:00 情報交換会

※演題の順番は、変更する場合があります。